

小中高生からの声 ～教えてください！！みんなの気持ち～

児童生徒の声を紹介します。

◇『おとな』に望むこと

- ・いじめのことは自分から言いづらいので、いつもと様子が違うときは気づいて声をかけてほしい。
- ・普段から、最近の出来事や何気ないことを聴いてほしい。
- ・子どもの意見や気持ちを考えながら接してほしい。
- ・気にかけてほしいが、いじめは大ごとにはされたくない。
- ・友達と比べないでほしい。比べられると劣等感や嫉妬心を感じてしまい、それがいじめをしてしまう原因になるかもしれないから。
- ・「あいさつをきなさい」とよく大人から言われるが、大人もできていないと感じることがあるので、まずは大人が見本となってほしい。

子どもたちは、「大ごとにはされたくない」と思いながらも、「変化に気づいてほしい」「聴いてほしい」という思いを持っています。子どもとの普段からのコミュニケーションや、子どもの小さなサインに気づくことが大切です。また、私たち『おとな』の振る舞いは、子どもたちに少なからず影響を与えることに留意して行動する必要があります。

◇いじめのことを『おとな』に相談しやすくなるには

- ・親しみやすい、信頼できる大人がいたら
- ・大人の考えを押し付けず一緒に解決策を考えてくれるなら
- ・自分にとって良いアドバイスをしてくれるなら
- ・否定しないで何も言わずに聴いてくれるなら
- ・いきなりは相談しにくいので、普段の会話の中で聴いてくれるなら

子どもたちは、自分達のことを大切にしてくれる『おとな』や、普段から関わりを持ってくれる親しみやすい『おとな』を信頼しています。まずは、子どもたちの気持ちを受け止め、子どもたちをしっかりと守るという姿勢を示していきましょう。

◇地域での出来事を聴きました

- ・奉仕作業を行ったときに「ありがとう」「助かったよ」と言われて心が温かくなった。やって良かったと思った。
- ・地域行事が終わると、地域の人から「楽しかったね。頑張ったね」と言われてスッキリした気持ちになった。
- ・地域の人にあいさつをすると気持ちよく返してくれた。

子どもたちにとって、地域における世代間交流は、『おとな』から認められるという思いを得ることで自分に自信を持ち、他の人を思いやる心を養うことにつながる経験となります。いじめの未然防止には、子どもたちの自己有用感や自己肯定感を高めることが大切です。